

令和2年第47回 グループホームまみや地域運営推進会議 議事録

会議日時	令和2年 1月 24 日 金曜日		時間 13:30 ~ 14:30				
場所	グループホームまみやリビング						
議題	1、グループホームまみや入居者の現状 2、ヒヤリハット、事故報告 3、ノロウイルス対策 4、その他						
出席者	町職員 1名 地域住民代表 1名 民生委員 欠席 間宮区副区長 欠席 ご利用者様ご家族 1名 ご利用者 3名 職員 3名						
ご利用者の状況	1 ユニット						合計
	男性	1名	平均年齢		83歳		男性 1名
	女性	7名	平均年齢		86,5歳		女性 7名
							年齢 85,6歳
介護区分の分布	要支援2 0名	要介護1 2名	要介護2 2名	要介護3 1名	要介護4 2名	要介護5 1名	平均介護度 2,7
1月17日に大正14年生まれ94歳の 女性が入所されました							
<p>ヒヤリハット、事故報告書</p> <p>R元年 11月26日 ~ R2年1月13日迄 ヒヤリハット 19件 事故報告書 3件</p> <p>1月17日の単独離設に関連し司会者から市職員に質問</p> <p>玄関のドアに鍵を掛けるのは身体拘束に当てはまるのでしょうか、社内ではグレーゾーンだと言う意見と問題ないとの意見があり、施錠に付いて検討中です。</p> <p>福祉課職員 ハッキリとは分かりませんがグレーゾーンの事案ではないでしょうか。</p> <p>会議終了後福祉課に電話し質問する</p> <p>本人が解除出来るので有れば拘束には当たりません。逆に開錠できなければ拘束の疑いが出ますが交通事故 迷子等の危険が有りますから対策を取ってください。</p> <p>外出しようとする利用者さんがいた時に同行するなどの対応を摂ることが大事です。</p> <p>施錠に関しては一般家庭と同じように防犯の事も考慮して決めて下さい。</p>							
<p>ノロウイルス対策</p> <p>職員より研修報告と実技のデモンストレーションを行う。</p> <p>ノロウイルスは貝類からの感染と思われがちだが、人から人への感染も多くなっている。</p> <p>特に嘔吐物を処理する人の、2次感染には注意が必要です。</p> <p>インフルエンザ予防も同じですが、マスクの向きはヒダカが下向きになるように付けます。</p> <p>外す時は人差し指1本で外します。</p> <p>以下別紙参照</p>							
<p>質問</p> <p>ノロウイルスはどんな症状ですか</p>							

強い嘔吐と下痢です。しかしノロウイルスでなくても嘔吐があった時は念のため防御策を取ったほうが良いでしょう。当施設でもノロではありませんでしたが嘔吐を処理した人が感染したことが有ります。また以前湯河原の企業研修施設でノロウイルス中毒が発生し処置が完全でなく嘔吐後のカーペットを歩いた人が数名ノロウイルス感染症になった事がありました。

次回予定

令和2年 3月27日(金) 時間13:30

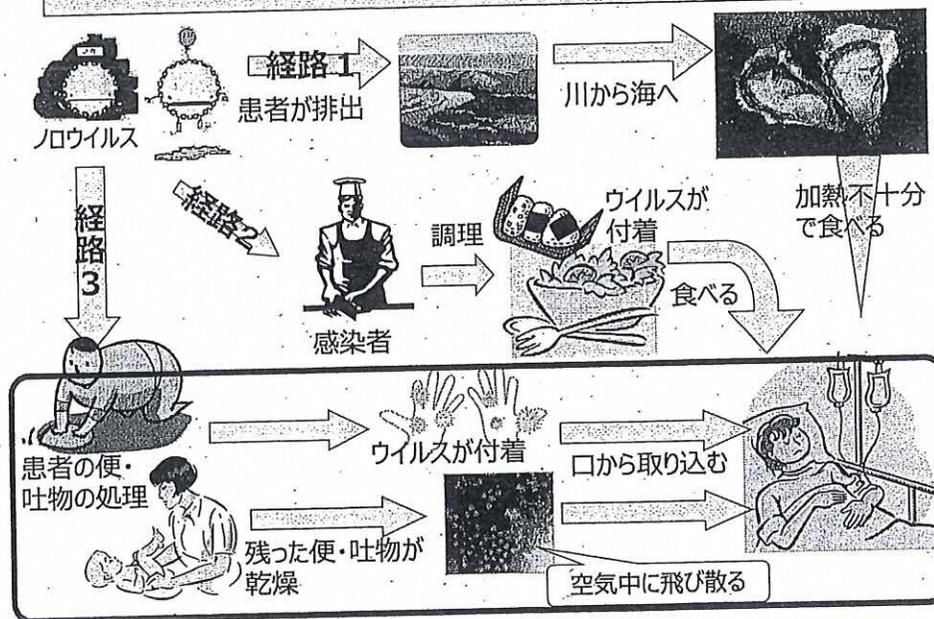
## ノロウイルスの特徴

- 人の腸の中で増殖する
- 少量（10～100個程度）でも感染・発症
- 感染者の便1gで100万人感染させられる

便	約1億個/g（乳幼児では、100億個/g）
吐物	約100万個/g

- 症状がなくなってもウイルスが便に混じっている（1週間～1か月）

## 感染のしかた（感染経路）



## ノロウイルス感染の予防

1. 二枚貝などの食品の十分な加熱  
（中心部が85℃～90℃で90秒以上の加熱）

2. 手指衛生

（調理を行う前、食事の前、トイレの後、下痢や吐物の処理をした後）



3. 嘔吐物・排泄物の処理方法の徹底

## 手指衛生（手洗い）

### いつ行う？

トイレの後、下痢や吐物の処理をした後、食事の前、オムツ交換の後（1人ずつ）、

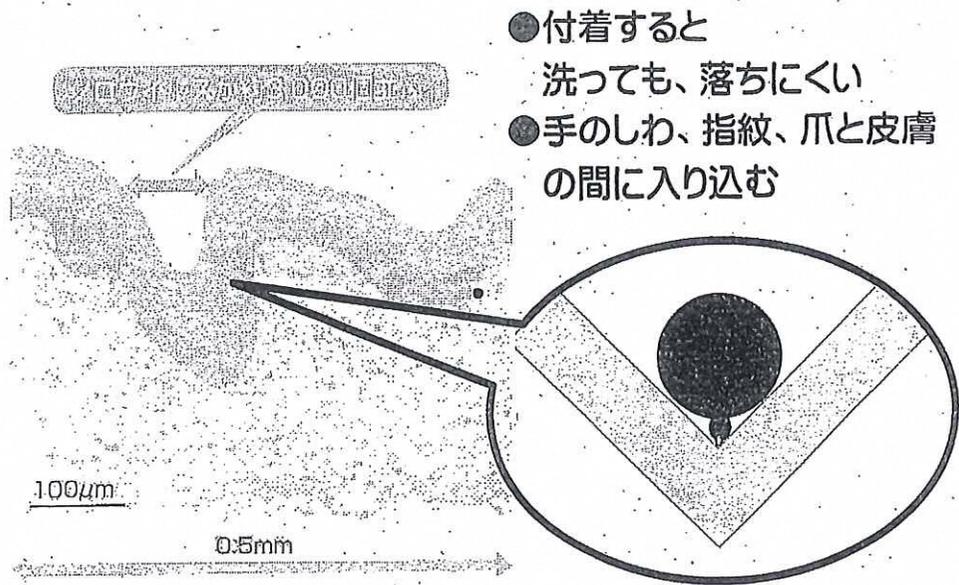
### どのように洗う？

- 石けんをつける
- 泡立てて洗う
- 洗い流す

…を2回続けて行う

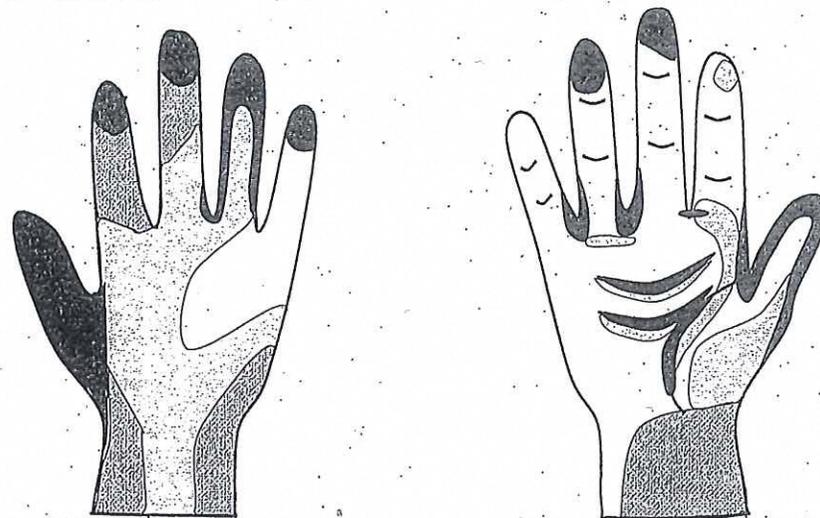


# ウイルスはとても小さい



- 付着すると洗っても、落ちにくい
- 手のしわ、指紋、爪と皮膚の間に入り込む

# 手指消毒の仕方



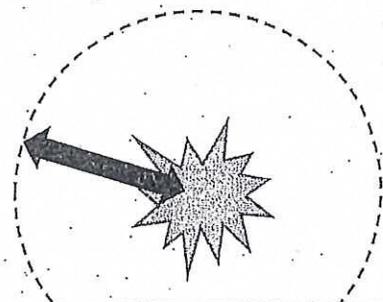
手の甲

手のひら

- 最も不十分になりやすい箇所
- 不十分になることが多い箇所
- 不十分になることが少ない箇所

# 汚物処理時のポイント

- 感染防止用品（エプロン・手袋等）の着用
  - 長袖の時は腕をまくる、腕時計を外す、長い髪は束ねる
- 立ち入り制限
- 十分な換気
- 効果的な薬剤の使用
- 広範囲の清浄化
- 処理後の手洗い



1mの高さから嘔吐すると、しぶきは半径2メートル程度飛び散ると言われています

# 吐物処理

## 【必要物品】

- 使い捨ての手袋（防水の物2組・重ねて装着）
- 使い捨てのガウンまたはエプロン（防水の物）
- 使い捨てのマスク
- 拭き取りに使用するペーパータオル等
- ゴミ袋（厚手の物2枚）
- 床の処理：使い捨ての靴カバー（レジ袋など）

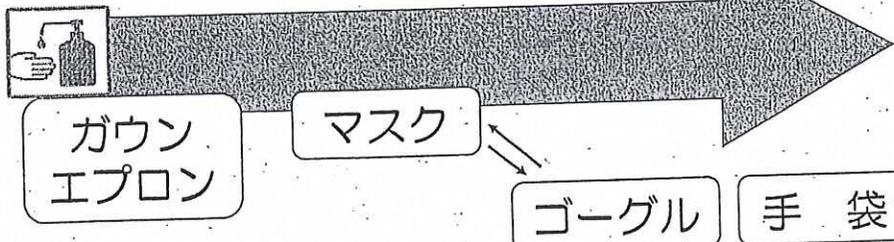
# 吐物処理

## 【必要物品】

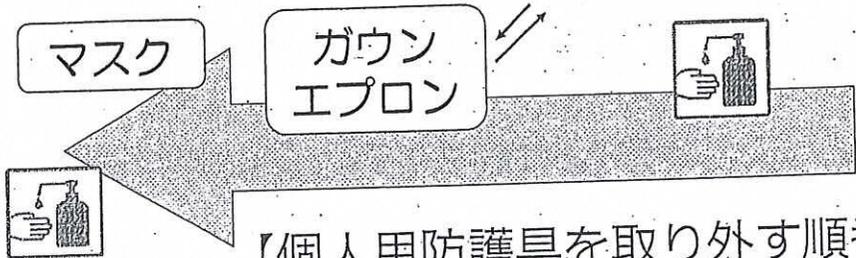
- ◎使い捨ての手袋（防水の物2組・重ねて装着）
- ◎使い捨てガウンまたはエプロン（防水の物）
- ◎使い捨てのマスク
- ◎ゴーグル
- ◎拭き取りに使用するペーパータオルまたは新聞紙等
- ◎ゴミ袋（厚手の物2枚）
- ◎ビニール袋
- ◎床の処理：使い捨ての靴カバー（レジ袋など）

## PPE着脱順序

### 【個人用防護具の装着順序】



### 【個人用防護具を取り外す順番】



## 消毒薬の準備

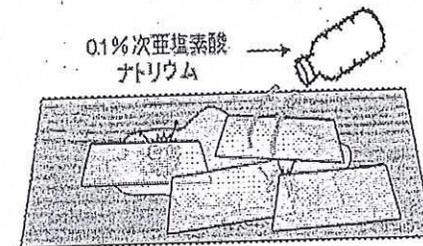
- 塩素系漂白剤：次亜塩素酸ナトリウムを0.1%に希釈して使用する  
市販のもので5%
- 500mlのペットボトルを使用して希釈する方法
- ボトルの中に次亜塩素酸ナトリウム液をペットボトルのキャップ2杯分入れて、水で薄める

直接吐物が付着していない環境消毒は0.02%（500mlのボトルの中に次亜塩素酸ナトリウム液をペットボトルのキャップ半分入れて水で薄める）の消毒薬を使用する

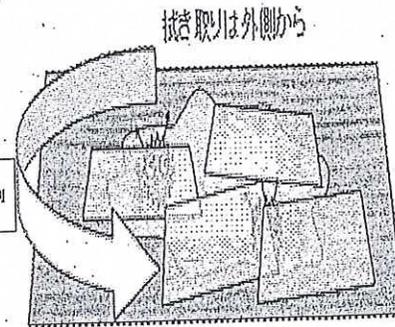
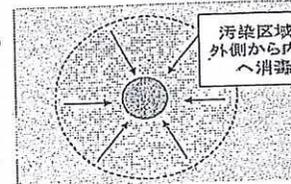
## 吐物の処理方法 1

### 【手順】

- 1.使用する物の配置を行う  
吐物の上に新聞紙またはペーパーを載せ、水分を吸収させ次亜塩素酸ナトリウム溶液をかける。



- 2.外側から中心に向かって拭き取る。



## 吐物の処理方法 2

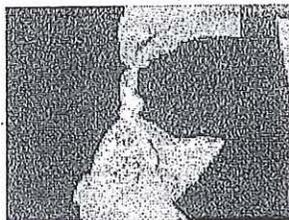
### 【手順】

3. 拭き取りに使用したペーパー等をゴミ袋に入れ、次亜塩素酸ナトリウム溶液をかける。(ぬれる程度)



外側にしていた手袋  
0.1% 次亜塩素酸  
ナトリウムを入れておく  
次亜塩素酸ナトリウム  
溶液を上からかける

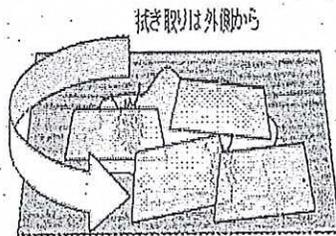
4. 外側の手袋を外し、靴カバーを脱ぎゴミ袋の中に入れ、1枚目のゴミ袋の口をしっかりと縛る。



## 吐物の処理方法 4

### 【手順】

7. 10分経過したら、再び外側から内側に向かって拭き取り、2枚目のゴミ袋に捨てる。



8. 次亜塩素酸ナトリウム溶液をしみ込ませたペーパーで床を外側から内側に向かってもう一度拭き、ゴミ袋に捨てる。

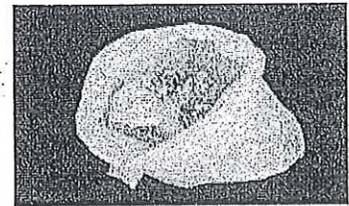


ウイルスを別の所に運ばないため、新しいペーパーに消毒液をしみこませ履物の裏側を消毒する

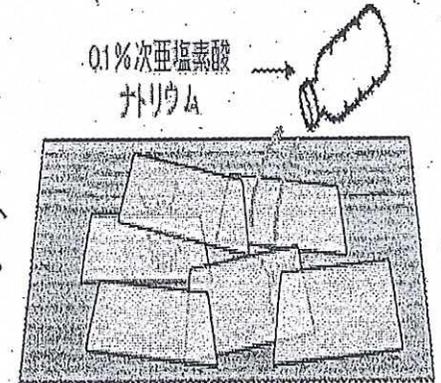
## 吐物の処理方法 3

### 【手順】

5. 2枚目のゴミ袋を広げ、口を縛った1枚目のゴミ袋を入れる。



6. 床に新聞紙をもう一度敷き、上から次亜塩素酸ナトリウム溶液をかけ、10分程度そのままにする。



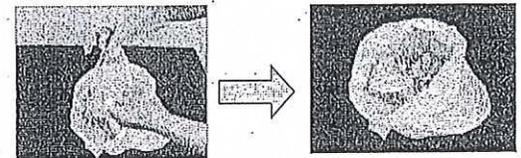
## 吐物の処理方法 5

### 【手順】

9. 最後に水拭きし、ゴミ袋へ捨てる。



10. 内側の手袋を外し、ゴミ袋へ捨てる。



11. 水と石鹼で手洗いし、エプロン、マスクの順に外し、ゴミ袋へ捨て、ゴミ袋の口を縛る。

12. 水と石鹼でもう一度手洗いをする。

13. 開けておいた窓を閉める。